

「主な取組」検証票

施策展開	5-(6)-イ	地域づくりを担う人材の育成	施策	① 地域づくりに取り組む人材の育成
			施策の小項目名	—
主な取組	沖縄らしい風景づくり促進事業(地域景観の形成を図る人材の育成)			
対応する主な課題	②地域の持続的な活性化に向けては、地域の良さを再認識し、地域の様々な魅力ある資源を具体的な事業に結びつけ、地域活動の広がりをとおして、地域の活性化を主導できる人材が求められている。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
良好な景観創出のための仕組みづくりを目的として、風景・まちなみの再生を先導する地域に根ざした風景づくりリーダー等を育成する。		H29	H30	R元	R2	R3
		300人 講習修了数				
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	土木建築部都市計画・モノレール課 【098-866-2408】					
		景観形成人材育成(地域人材、地域を支援・景観を形成する専門家の育成)				

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位: 千円)

予算事業名							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度: 人材育成計画に基づき、県内6地区において講習会等を開催する予定であったが、実施地区の変更や地元調整に時間を要したため、開催していない。 OR2年度: 人材育成計画に基づき、県内6地区において風景づくりサポーター及び地域景観リーダー並びに景観行政コーディネーター育成のため講習会等を開催す	
一括交付金(ソフト)	委託	73,904	55,305	23,141	14,664	4,520	14,574	一括交付金(ソフト)		
予算事業名							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度: — OR2年度: —	
		—	—	—	—	—	—			

活動指標名	講習修了数				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	567人	415人	457人	718人	地元調整	300人	25.0%	4,520	大幅遅れ	平成24年度に策定した「沖縄の風景づくりに係る人材育成計画」に基づき、県内6地区において風景づくりサポーター及び地域景観リーダー育成のための講習会等を計画したが、実施地区の変更や地元調整に時間を要したため、実施できていない。新規地区の選定や意向調査等、令和2年度の事業円滑化に向けた取組を実施した。  進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 座間味地区において事業継続が困難となり、実施地区の変更を余儀なくされたため、新たに浦添前田地区について地元市町村等と調整を実施し、新規地区に選定した。 実施地区の変更に係る地元調整に時間を要したことや入札不調から講習会等を実施できなかったが、対象地区数を減らすことなく令和2年度の事業実施につながっており、大幅遅れとした。
活動指標名	講習会等実施合意地区数				R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—				
活動指標名	—				R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—				

(2) これまでの改善案の反映状況

令和元年度の取組改善案	反映状況
・地域住民の景観への関心を高めるため、地元市町村と連携を図りながら各地区でワークショップ等を開催し、地域景観協議会設立に向け引き続き取り組んでいく。	・人材育成におけるワークショップの開催など、地域の風景づくり活動を行う地域景観協議会設立等に向けた支援を計画したが、実施地区の変更や地元調整に時間を要し、実施に至っていない。

## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・実施地区の変更や地元調整に時間を要したことや入札不調から講習会等を実施できなかったことを踏まえ、地域人材育成の円滑な実施にあたっては、地元市町村や実施地区との連携が必要不可欠である。

##### ○外部環境の変化

・市町村や地区によっては人手不足等の要因で、講習会等の継続が困難な場合がある。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・地元市町村や実施地区と連携の上、風景づくりに係る人材育成に取り組む必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

・地元市町村及び実施地区と連携して、人材育成に関する具体的なスケジュールや講習内容を共有する。  
・必要に応じて、市町村と連携して新規地区の追加について検討を行う。